

平成26年度 事業別予算概要

事業名	41435	アスベスト対策事業補助金	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「すみよさ」のあるまちをめざして	概観計画	市長公約
				款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生		
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	1	保健衛生費		基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する	実施計画事業	アスベスト対策事業
			2318	目	5	生活環境費		施策	3	公害の発生防止	H26実施計画額	4,000 千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	補助対象建築物の所有者又は管理者	どうしたいのか(意図)	アスベスト等の飛散による市民の健康被害を予防し、生活環境の保全を図る	概要	事業の実施手法(手段)	民間が実施するアスベスト含有調査及びアスベスト除去等に対して助成する
	対象者数	- 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	含有調査	2件							
	除去等	2件							
制度周知 広報たかやま 含有調査補助の利用者(アスベスト含有あり)への除去工事実施の意向調査 吹付けアスベスト建材が使用されている建築物所有者への助成制度活用周知									
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	アスベスト含有調査件数		件	目標値	8	8	8	8
		実績(見込)				10	2	2	
		算出根拠等 含有調査実施件数/含有調査目標件数			達成率(%)	125	25	25	
	活動指標	アスベスト除去等件数		件	目標値	1	2	2	4
		実績(見込)				1	2	3	
		算出根拠等 除去等実施件数/除去等目標件数			達成率(%)	100	100	150	
	成果指標	アスベスト除去等件数(累計)		件	目標値	4	6	8	
		実績(見込)				3	5	10	
		算出根拠等 除去等実施件数(累計)/除去等目標件数(累計)			達成率(%)	75	83	125	
	補足				目標値				
		算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 除去工事の助成利用者が少数であるため、更なる除去工事の助成制度利用のPRが必要である。 含有調査の助成利用者が増加しており、除去工事の実施に繋げる必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載 や アスベスト含有調査の助成利用者、相談者に対して積極的にPRを行う。 		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載など積極的なPRを行う。
		縮小	
		廃止検討	
	○ 維持・改善	拡大	(担当課評価に同じ)
		縮小	
		廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,288	3,535	6,000	12,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 298,909	883,750	600,000	923,077
	受益者 補助申請者	(B) 11	4	10	13

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> アスベスト含有調査費に対する助成 アスベスト除去等工事費に対する助成 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 確実な対策の実施のために必要な経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> アスベスト除去の指導をしている岐阜県との連携が必要 アスベストが吹き付けられている建築物所有者に対する除去工事実施の更なる啓発
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	6,000	12,000	6,000	10,000	10,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金	4,000	7,000	3,000	6,000	6,000		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	2,000	5,000	3,000	4,000	4,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74100	建築確認等申請事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	課			7	土木費	分野		4	住宅・公園	実施計画事業		
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費	H26実施計画額	基本施策	1	誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	千円	
	2318	目		1	都市計画総務費	施策		1	良質な住宅環境の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	新築、増築における建築主	どうしたいのか(意図)	建築基準法、建設リサイクル法、省エネ法等により、良質な居住環境を整備する	概要	事業の実施手法(手段)	建築確認及び各届出による確認
	対象者数	- 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・建築確認申請(市) 44件 ・建築確認申請(県) 18件 ・完了検査申請 39件 ・位置指定道路 6件 ・都市計画法第53条許可申請等 9件						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	建築確認等申請件数	件	目標値	170	140	140	140
		実績(見込)		144	116	120		
	算出根拠等	確認、完了、位置指定等件数		達成率(%)	85	83	86	
		目標値		実績(見込)				
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
		実績(見込)		実績(見込)				
	算出根拠等	達成率(%)		達成率(%)				
		目標値		目標値				
	算出根拠等	実績(見込)		実績(見込)				
		達成率(%)		達成率(%)				
	算出根拠等	目標値		目標値				
実績(見込)			実績(見込)					
算出根拠等	達成率(%)		達成率(%)					
	目標値		目標値					
算出根拠等	実績(見込)		実績(見込)					
	達成率(%)		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 職員の審査能力の維持及び向上 違反建築物に対する厳格な指導
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		<ul style="list-style-type: none"> 職場内研修により職員の審査能力の維持及び向上を図っている。 完了検査申請の督促を実施している。
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、職員研修を進め、審査能力の維持及び向上を図る。 違反建築物への指導強化の体制を構築する。 県が指定を進める土砂災害特別警戒区域に係る建築構造規制に関して、円滑に建築確認申請が行われるよう建築関係団体へ周知を継続する。 都市計画、景観計画等の建築規制について建築関係団体へ周知を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	531	702	924	1,008
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	3,688	6,052	6,600	7,200
	受益者	申請者	(B)	144	116	140	140

5 予算編成(Action2)

事業内容	建築確認申請等の受付、審査等に必要なる事務費	要求のポイント	事業実施の課題
------	------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		924	1,008	84	931	931	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	10	10	0	10	10		
	その他	914	998	84	921	921		
	一般財源			0				

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74105	美しい景観と潤いのあるまちづくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市景観計画	市長公約
	課			7	土木費	分野		2	景観	実施計画事業		美しい景観と潤いのあるまちづくり推進事業費	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線 2318	項	4	都市計画費	基本施策	1	潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する	H26実施計画額	1,000 千円		
	目	1		都市計画総務費	施策	1		個性ある景観の保全					

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象) 開発事業者及び新築等の建築主	どうしたいのか (意図)	美しい景観と潤いのあるまちづくり条例等による指導で秩序ある土地利用と美しい景観の創出を推進する	概要	事業の実施手法(手段)	美しい景観と潤いのあるまちづくり条例による届出の審査、確認
	対象者数	- 人				

2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例 大規模開発構想届 19件 中規模開発事業実施計画書 65件		小規模開発事業実施計画書 51件 景観重点区域内行為届出書 119件				
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	美しい景観と潤いのあるまちづくり条例による届出件数	件	目標値	180	180	180	160
	算出根拠等		実績(見込)	185	254	200	
成果面	算出根拠等		達成率(%)	103	141	111	
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	大規模開発事業では、美しい景観と潤いのあるまちづくり条例に基づき開発構想届の縦覧、事業者による住民説明会の開催などが行われ、住民参加のまちづくりが推進された。						

3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<景観基準の周知> 建築物等の形態意匠(景観)に係る届出の内容が、景観基準に適合せず改善の指導に苦慮するケースがあるため、市民、建築関係事業者等に対して、景観基準の内容をより積極的に周知する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	<建築関係団体への景観基準周知の継続> 建築物の建築は市民が建築関係事業者へ依頼することにより行われるため、建築関係団体に対して、景観基準の周知と遵守について周知を継続する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<景観基準の周知及び遵守> 広報たかやま等の活用により市民に対して景観基準の周知をより積極的に行い、併せて景観デザイン賞の制度の活用により美しく潤いのある景観の創出を推進する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	130	216	865	1,011
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	703	850	4,806	6,319
	受益者	届出者	(B)	185	254	180	160

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・まちづくり審議会の開催、開発許可申請等の受付・審査等に必要な事務費 ・まちづくり条例に関する説明会の実施	要求のポイント	事業実施の課題	建築関係団体等への景観基準等の周知と遵守の啓発
------	--	---------	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		865	1,011	146	683	683	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	74	74	0				
	その他	500	500	0	500	500		
	一般財源	291	437	146	183	183		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74115	都市計画総務関係事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	計画的な土地利用をめざして	根拠計画	高山市都市基本計画	市長公約
種別				款	7	土木費		分野	1	土地利用			
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費	基本施策	1	住みよい生活環境の実現と地域全体の秩序ある発展を図る	H26実施計画額	0	千円	
			2339	目	1	都市計画総務費	施策	1	総合的な土地利用				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	都市計画区域内の市民	どうしたいのか(意図)	都市が健全に発展し、秩序ある整備を図ることができる状態にする	概要	事業の実施手法(手段)	都市計画行政に必要な情報の収集や知識の習得
	対象者数	71,286					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	都市計画新人研修への参加 3人 都市計画研修への参加 1人							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	研修参加者数	人	目標値	4	5	5	5
		実績(見込)		0	4	4		
	算出根拠等	参加者数		達成率(%)	0	80	80	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	研修への参加等により知識の習得に努めるとともに、必要な情報の収集を図っている。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	引き続き情報収集や知識の習得に努め、有効な施策の実施につなげるとともに、市民等からの問い合わせに対応する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	303	260	299	335
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	5	4	4	5
	受益者	都市計画区域内の市民	(B)	64,527	71,749	71,286

5 予算編成(Action2)

事業内容	・都市計画関係研修 ・こどもまちづくりコンクールの実施	要求のポイント		事業実施の課題	・専門的な知識等の効果的効率的な習得 ・こどもの視点の施策への反映
------	--------------------------------	---------	--	---------	--------------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	299	335	36	315	315	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	68	68	0	68	68		
その他			0				
一般財源	231	267	36	247	247		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74120	建設営繕等事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	計画的な土地利用をめざして	根拠計画	市長公約
				款	7	土木費		分野	1	土地利用		
担当課				項	4	都市計画費		基本施策	1	住みよい生活環境の実現と地域全体の秩序ある発展を図る		
				目	1	都市計画総務費		施策	1	総合的な土地利用		
		内線										
		2314									H26実施計画額	千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・適正な公共建築工事発注のための設計図書を作成し、かつ公共工事として求められる品質を確保する。 ・公共建築物として求められる安全性を確保するため、建築基準法に基づき市所有の特殊建築物の定期調査並びに報告を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・公共建築工事にかかる設計及び監理業務を委託する。 ・定期調査並びに報告業務を委託する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	市有建築物の改修等に係る設計及び監理業務等を委託し、工事の適正な実施につとめた。(宮小学校屋内運動場便所バリアフリー改修工事に係る設計及び監理業務他15件)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	設計及び監理業務等委託発注件数	件	目標値	13	11	11	10
				実績(見込)	13	16	11	
				算出根拠等	達成率(%)	100	145	100
	活動指標	定期調査等業務委託発注件数	件	目標値	0	5	0	3
				実績(見込)	0	5	0	
				算出根拠等	達成率(%)		100	
	成果指標	建築工事発注件数	件	目標値	13	11	11	10
				実績(見込)	13	16	11	
				算出根拠等	達成率(%)	100	145	100
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
補足			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・市有建築物の管理主体(指定管理者)との責任分担の範囲を明らかにし、必要な経費を管理主体が賄うことによりさらなる経費削減につながる。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・公共建築物の品質確保の取り組みを継続しつつも、コスト削減に向けた課題を整理する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	早期発注に努めるとともに効率的で効果的な業務委託の発注を行うことに取り組む。
	拡大	
	縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善	ランニングコストを考慮した適正な施設の設計を行う必要がある。	
拡大		
縮小		
○ 廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,589	6,993	5,000	0
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	71	75	54	0
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	市有建築物の改築・改修等にかかる設計及び監理業務の委託	要求のポイント		事業実施の課題	・ランニングコストを考慮した適正な施設の設計を行う必要がある。
------	-----------------------------	---------	--	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,000	0	△ 5,000	6,000	6,000	・平成26年度実施事業により調整	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	5,000		△ 5,000	6,000	6,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74134	建築物耐震総合対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「すみよさ」のあるまちをめざして	概観計画	高山市耐震改修促進計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります ・住宅の耐震化率を90%以上に高めるとともに、防災ラジオの普及率を80%以上に高めます
				款	7	土木費		分野	4	公園・住宅				
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費		基本施策	1	誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	H26実施計画額	56,000 千円		
			2318	目	1	都市計画総務費		施策	1	良質な住宅環境の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内にある建築物の所有者	どうしたいのか(意図)	平成27年度までに住宅や一定用途・規模以上の建築物に関して耐震化率90%以上とするため、耐震診断及び耐震補強工事に対する助成制度を実施し、地震に強い安全・安心なまちづくりを目指す	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・木造戸建て住宅耐震診断: 診断申込者へ岐阜県木造住宅耐震相談士を派遣して耐震診断を実施する ・上記以外の建築物耐震診断: 建築物所有者と建築士が契約を締結して耐震診断を実施し、その経費に対して補助する ・耐震補強工事: 耐震診断の結果、耐震補強が必要とされた所定の建築物を、基準以上の耐震強度を確保する工事について、その経費の一部を補助する ・耐震シェルターの設置にかかる費用を補助する
	対象者数	- 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	木造戸建て住宅耐震診断 94件 建築物耐震診断 8件 木造住宅耐震補強工事 15件						
成果 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	耐震診断実施件数	件	目標値 202 実績(見込) 139	150	150	156
	算出根拠等	耐震診断実施件数/耐震診断目標件数	達成率(%)	69	68	53	
	活動指標	耐震補強工事実施件数	件	目標値 31 実績(見込) 22	29	17	35
	算出根拠等	耐震補強工事実施件数/耐震補強工事目標件数	達成率(%)	71	52	47	
	成果指標	住宅の耐震化率	%	目標値 90 実績(見込) 65	90	90	90
	算出根拠等	耐震強度のある住居の戸数/全住居の戸数	達成率(%)	72	72	72	
				目標値 実績(見込)			
	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値 実績(見込)			
算出根拠等		達成率(%)					
補足			目標値 実績(見込)				
算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅の耐震診断は無料で実施しているため申請件数は比較的多いが、耐震補強工事は費用が高むことからなかなか申請件数が伸びてこない。補助額の増額の検討や、簡易補強の推進を図るなど、市民が活用しやすい制度設計が必要である。 ・耐震補強工事の実施が困難な伝統構法木造建築物に関する耐震補強工事の手法の検討が必要である。(平成25年度に耐震化マニュアルの作成を予定している。) ・技術者の育成が必要である。(耐震診断相談士に対して実施している耐震補助制度の説明会を継続していく。) ・補助制度等の周知の継続が必要である。(耐震診断利用者に対する個別相談や個別訪問等のPRを継続していく。)
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修促進法の改正に伴い一定要件に該当する建築物に耐震診断の義務化が予定されており、国・県と連携して必要な取組みを進める。 ・伝統構法木造建築物の耐震化マニュアルの作成を行う。 		
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善	
	○ 拡大	・木造住宅の簡易な補強工事の利用についても推進していく。	
	縮小	・伝統構法木造建築物の耐震化へ向けた取り組みを引き続き行う。	
	廃止検討		
二次評価	○ 維持・改善		
拡大	・耐震診断が補強工事の実施につながるよう、有効な対策を講じる必要がある。		
縮小	・伝統的木造建築物に対応した耐震構法について、検討する必要がある。		
廃止検討			

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	49,664	34,515	71,310	130,789
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	308,472	295,000	383,387	583,879
	受益者 申請者	(B)	161	117	186	224

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断委託 ・伝統構法木造建築物の耐震診断に対する助成 ・木造住宅耐震工事構造審査委託 ・建築物耐震診断に対する助成 ・木造住宅耐震補強工事に対する助成 ・伝統構法木造建築物の耐震補強工事に対する助成 ・特定建築物耐震補強工事に対する助成 ・耐震シェルター設置に対する助成 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統構法木造建築物に係る耐震診断及び耐震補強工事に対する助成制度を新設 ・補助金の審査事務をスピーディーに行うため、木造住宅耐震補強工事の構造審査について新規に委託するための経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強工事は工事費が高額となるため、耐震診断や耐震補強工事を敬遠する傾向がある。 ・伝統構法木造建築物に係る耐震マニュアル(平成25年度に策定予定)の普及・啓発 ・伝統構法木造建築物に係る技術者・技能者の確保・育成
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	71,310	130,789	59,479	86,010	86,010	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・伝統構法木造建築物の耐震診断及び耐震補強工事に対する助成制度を新設 	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	10,450	19,723	9,273	24,246	24,246		
県支出金	18,485	34,865	16,380	14,275	14,275		
その他			0				
一般財源	42,375	76,201	33,826	47,489	47,489		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74140	都市づくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	計画的な土地利用をめざして	根拠計画	高山市都市基本計画	市長公約
	種別			款	7	土木費		分野	1	土地利用			
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費		基本施策	1	住みよい生活環境の実現と地域全体の秩序ある発展を図る	H26実施計画額	3,000 千円	
			2339	目	1	都市計画総務費		施策	1	総合的な土地利用			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	都市計画区域内の市民	どうしたいのか (意図)	都市が健全に発展し、秩序ある整備を図ることができる状態にする	概要	事業の実施 手法(手段)	各種都市計画制度の活用等
	対象者数	71,286 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の変更及び都市計画交通広場の決定 都市計画基本図の修正 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	都市計画の決定、変更	件	目標値	1	2	2	2
				実績(見込)	1	4	2	
	算出根拠等	件数		達成率(%)	100	200	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	業務委託等により実施する場合には、引き続きコスト削減に努める。
----------------------------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	都市計画道路の変更手続きをすすめるなど、必要な事務を行っている。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	都市計画基礎調査を実施し、都市の現状、都市化の状況等を把握することで、今後の都市政策の検討につなげる。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	476	37,413	744	19,474
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7	521	10	273
	受益者	都市計画区域内の市民	(B)	64,527	71,749	71,286

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画基礎調査・解析業務の実施 市街地交通状況実態調査・解析業務の実施 都市計画審議会開催 	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画に関する基礎調査として、人口規模、産業分類別就業人口、土地利用及び交通量等の現況及び将来見通しについての調査・解析に必要な経費を計上 市街地における自動車交通量及び時間貸駐車場の利用実態の調査及び解析に必要な経費を計上 	事業実施の 課題	<ul style="list-style-type: none"> 都市の健全な発展、秩序ある土地利用のための土地利用及び交通に関する効果的な規制・誘導策の確立
------	--	-------------	--	-------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		744	19,474	18,730	17,404	17,404	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 都市計画基礎調査、市街地交通状況調査に要する経費を計上 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		2,000	2,000	1,200	1,200		
	県支出金		3,789	3,789	3,700	3,700		
	その他			0				
	一般財源	744	13,685	12,941	12,504	12,504		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74503 緑地保全推進事業費	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	概観計画	高山市緑の基本計画	市長公約
担当課	基盤整備部 都市整備課	款	7 土木費	分野	1 自然	実施計画事業	自然保護保存活動推進事業、緑地保全推進事業、緑のパートナー制度事業、緑化推進事業、自然と親しむ機会充実事業、里山保全整備事業	
		項	4 都市計画費	基本施策	1 恵まれた自然を守り活かす	H26実施計画額	35,500 千円	
		目	5 景観保全総務費	施策	1.2 自然環境の保全・緑あふれる空間の創出			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・潤いやすらぎを感じることができる緑豊かな環境の保全・創出・活用を推進し、市民誰もが緑の恵みを受けられる環境を整備する ・緑化意識の高揚を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・施設緑化用花苗の配布、緑と親しむ日等におけるイベントの開催 ・市街地周辺の里山の取得 ・里山保全に協力する所有者に対する奨励金の交付 ・市指定保存樹等の管理に対する助成
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・松倉山市民ハイキング(平成24年6月)、結婚記念樹配付(平成24年6月)、秋の市民ハイキング(平成24年10月)を実施 ・下岡本町地内の里山を取得 ・緑地保全推進事業補助金の交付 ・市指定保存樹等管理補助金の交付 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	緑と親しむ日等に実施したイベント回数	回	目標値	3	3	3	3
		実績(見込)	3	3	3			
	成果指標	算出根拠等 実施回数/計画回数		達成率(%)	100	100	100	
		緑と親しむ日等に実施したイベント参加人数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
	成果指標	算出根拠等 イベントにおける参加人数の合計		実績(見込)	989	684	700	
		達成率(%)		99	68	70		
	成果指標	里山購入面積	㎡	目標値	85,132	60,000	60,000	
		算出根拠等 里山取得面積/取得計画面積		実績(見込)	33,316	2,062	30,000	
	補足	算出根拠等		達成率(%)	39	3	50	
		目標値						
	補足	算出根拠等		実績(見込)				
達成率(%)								
補足	算出根拠等		目標値					
	実績(見込)							
補足	算出根拠等		達成率(%)					
	達成率(%)							
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・緑と親しむ日等にイベントを実施することで、自然に親しみ、花や木を育てる機会を与え、緑化意識の高揚につながっている ・市街地周辺の里山を取得に向けた取り組みは、里山保全意識の啓発につながっている。 ・市指定保存樹等の管理経費の助成は、緑の保全につながっている 							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・緑と親しむ日等に実施するイベントには、毎年多くの市民が参加されており、親から子へ、子から孫へと新しい世代へと緑化に関する意識を高め、今後も継続的に実施していくことが目的を達成するためには重要である ・里山の購入価格については、費用対効果の検討による価格設定が必要である
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から保存樹等を新たに指定する際は基準の運用を厳格化し、専門家の意見を踏まえて指定することとしており、安易に指定することはない。 ・里山購入交渉予定地については開発の抑制に効果的な場所を選定する。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・緑と親しむ日等にイベントを実施することで、着実に市民の緑化意識の高揚を図る ・市街地周辺の里山取得を継続することで自然環境の保全を今後も進めていく ・緑化推進事業に対し補助金を交付し、緑化の推進及び緑地の保全につなげる
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の取得については、市街地からの景観上重要な箇所のみとし、優先的に進めていく必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	22,203	6,861	37,300	15,081
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	238	74	405	164
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の緑化意識の高揚を図るためのハイキング等イベントの実施 ・補助金を活用した緑化推進 ・市街地を取り囲む里山取得等 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・潤いと安らぎを感じることができる緑のある環境を創出及び保全し、誰もが緑の恵みを受けられる環境を整備するのに必要な経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保存樹を新たに指定する場合は、保存樹の要件として必要な「健全かつ自然環境上保護が必要」であるかどうかについて専門家の意見を聞いた上で判断する必要がある。 ・今までに里山として取得した山林について危険木調査を含む管理が必要である。
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	37,300	15,081	△ 22,219	37,350	37,350	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	34,382	9,380	△ 25,002	34,380	34,380		
一般財源	2,918	5,701	2,783	2,970	2,970		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74505	景観保全奨励事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	視 観 計 画	市長公約
	課			7	土木費	分野		2	景観			
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線 2318	項	4	都市計画費	基本 施 策	1	潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する	実 施 計 画 事 業	H26実施計画額 11,300 千円	市 長 公 約
	目	5		景観保全総務費	1.2	個性ある景観の保全、あらたな景観の創出						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	市街地景観保存区域における保存活動を支援することにより、美しい景観の保全・創出を図る 民間事業者等の景観保全活動を奨励することにより、美しい景観の保全・創出を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存区域保存会が保存計画に基づいて行う事業に対する助成 市街地景観保存区域において市の指導等による損失が生じた場合の補償 民間事業者等の生けがき、景観にふさわしい看板・塀等の設置に対する助成
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	市街地景観保存区域保存会助成件数 12件 生けがき等設置推進事業 6件 高山の景観にふさわしい看板設置推進事業 0件 景観形成事業 0件 一般開放型民間施設整備事業 0件 市街地景観保存区域損失補償 2件								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	市街地景観保存区域保存会助成件数		件	目標値	12	13	13	13
		実績(見込)				12	12	12	
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	100	92	92	
		景観保存助成率		%	目標値	100	100	100	
	実績(見込)				100	100	100		
	活動指標	算出根拠等		助成件数/助成申請件数	達成率(%)	100	100	100	
		活動指標		生けがき、塀などの設置助成件数	件	目標値	38	16	16
	実績(見込)					3	6	7	
	活動指標	算出根拠等			達成率(%)	8	38	44	
		活動指標		市街地景観保存区域損失補償	件	目標値	0	0	0
	実績(見込)					0	2	2	
補足	算出根拠等			達成率(%)					
	算出根拠等			目標値					
実績(見込)									
算出根拠等				達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 建築関係団体に景観基準が十分周知・理解されていないケース等があるため、建築関係団体及び景観保存会に対して積極的に景観基準の周知が必要である。 景観基準に適合することに要する費用に対する助成制度の創設の検討が必要である。 市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成が必要である。 景観保全を行うにあたり既存条例では指導できない問題が生じているため、保存会と市が協働して当該問題解決の手法を検討する必要がある。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 建築関係団体及び保存会に対して景観基準の周知をおこなう。 損失補償に代わる助成制度の創設について検討を行う。 市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。 既存条例では指導できない問題の解決に向けて、景観保存会と協働して手法の検討を行う。 	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 建築関係団体及び保存会に対して景観基準の周知をおこなう。
	○ 拡大	<ul style="list-style-type: none"> 損失補償に代わる助成制度の創設について検討を行う。
	○ 縮小	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。
	○ 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 既存条例では指導できない問題の解決に向けて、景観保存会と協働し取り組みを実施する。 塀・屋外広告物等の補助対象要件を見直す他、美しい景観と潤いのあるまちづくり条例の届出を行う者に対して制度活用を勧めることで、助成制度の活用度を高める。
○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存区域保存会補助金については、補助対象経費の基準を明確にし、より効果的な景観保全の取り組みを支援できるよう、運用を見直す必要がある。 周知が不十分であることから、規制とあわせて機能させることを考え、景観政策を展開していく必要がある。 	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,573	3,092	6,628	21,652
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	17	33	72	235
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存区域保存会補助金(第1種、第2種) 生けがき、塀等設置に対する助成 景観にふさわしい看板の設置等に対する助成 一般開放型施設の整備に対する助成 景観重要建造物に指定された建造物に係る外観の維持・保存に対する助成 市街地景観保存区域建造物補助金 保存区域内の行為者で市の助言、指導又は勧告に従うことによる損失の補償 	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 市街地景観保存区域の拡大を図る 積極的なPRの実施により、事業の利用促進を図る 景観重要建造物に対する助成制度を新設 市街地景観保存区域内における景観向上に対する助成制度を新設 	事業 実施 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 景観町並保存連合会(専門部会)と市との協働による景観まちづくりの推進(保存会活動の活性化) 市街地景観保存区域における行為に対して、既存の条例では指導できない内容が発生しているため、こうした問題を保存会で解決していくための手法が必要である。 市街地景観保存区域建造物補助金(損失補償に代わる補助制度創設)についての周知 市街地景観保存区域拡大に向けた地域住民との合意形成 助成制度のPR
------	---	-------------	---	-------------------------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	6,628	21,652	15,024	18,938	22,938	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 景観重要建造物の修景に対する助成制度を新設 市街地景観保存区域建造物の修景に対する助成制度を新設 	市街地景観保存区域の修景事業を促進するため事業費を増額
財源内訳							
国庫支出金	1,096	6,940	5,844	6,050	7,650		
県支出金			0				
その他			0	40	40		
一般財源	5,532	14,712	9,180	12,848	15,248		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74530	景観保全関係事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	
				款	7	土木費		分野	2	景観			
担当課	基盤整備部 都市整備課			項	4	都市計画費		基本施策	1	潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する			実施計画事業
	内線 2318			目	5	景観保全総務費		施策	1	個性ある景観の保全			H26実施計画額

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	届出対象広告物の所有者又は管理者	どうしたいのか(意図)	・屋外広告物が、良好な景観に資するものとなるようにする。 ・風致を善し、公衆に対して危害を及ぼさないようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	景観保全に関する一般事務(情報収集、知識取得、啓発など) 屋外広告物の許可
	対象者数	- 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	新規許可 283件 更新許可 479件 変更許可 12件							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	屋外広告物許可件数(新規・更新・変更)	件	目標値	680	710	710	770
				実績(見込)	717	774	777	
	算出根拠等	許可実施件数/許可見込み件数		達成率(%)	105	109	109	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	既存不適格屋外広告物の一定の所有者に対して、許可基準に適合するよう協議を進めた。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知及び基準遵守の指導の強化
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	簡易除却の実施、更新許可の督促を実施している。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・許可事務の円滑な実施 ・違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知及び基準遵守の指導の強化
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	218	237	310	340
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	304	306	437	442
	受益者 屋外広告物許可件数	(B)	717	774	710	770

5 予算編成(Action2)

事業内容	・屋外広告物許可申請業務等に係る事務費 ・加入景観団体等への負担金	要求のポイント	・屋外広告物許可事務等に係る必要経費を計上	事業実施の課題	・違反広告物及び不適格広告物(条例適用時に適合しない部分がある広告物)に対する指導強化
------	--------------------------------------	---------	-----------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	310	340	30	310	310	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	44	44	0	44	44		
その他			0				
一般財源	266	296	30	266	266		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74600	公園管理費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市緑の基本計画	市長公約
種別				款	7	土木費		分野	4	住宅・公園		実施計画事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費	H26実施計画額	基本施策	2	誰もがやすらぐことのできる場を創出する	94,000 千円		
			2337	目	6	公園管理費		施策	1	特色ある公園づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市民や観光客が公園やまちかどスポットを安心・安全・快適に利用できるよう施設管理する。	概要	事業の実施手法(手段)	・都市公園及び地区公園の維持管理 ・まちかどスポットの維持管理 ・市道の街路樹の維持管理
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園35箇所及び地区公園39箇所の維持管理 ・まちかどスポット107箇所の維持管理 ・市道(45路線)の街路樹の維持管理 						
成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	公園利用満足度	%	目標値	100	100	100	100
	実績(見込)			91	94	94	
	算出根拠等	モニタリング調査	達成率(%)		91	94	94
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
		達成率(%)					
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・遊具等の公園施設の老朽化は進んでいる。今後も定期的な点検を行い、必要に応じて修繕、改修を行い、安全で安心して利用できる公園として管理していく必要がある
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・遊具等公園施設は、緊急度や利用度の高いものから順次修繕を実施している	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的にを行い、安心して利用できる公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な維持管理に努める ・引き続き指定管理者による効率的な施設管理を行う
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	89,576	94,768	97,225	106,618
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	960	1,021	1,056	1,158
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・都市公園、地区公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な管理	要求のポイント	・市民や観光客が公園やまちかどスポットを安全、安心、快適に利用できるようにするための必要な経費を計上	事業実施の課題	・街路樹等の樹木の成長に適した剪定方法及び頻度の検討が必要である ・公園管理備品の老朽化
------	--------------------------------	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	97,225	106,618	9,393	99,611	99,611	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	400	520	120	400	400		
一般財源	96,825	106,098	9,273	99,211	99,211		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74605	公園整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市緑の基本計画	市長公約
種別				款	7	土木費		分野	4	住宅・公園			
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費		基本施策	2	誰もがやすらぐことのできる場を創出する	実施計画事業	都市公園整備事業、まちの庭整備事業、公園施設維持修繕・改修事業	
			2337	目	6	公園管理費		施策	1	特色ある公園づくり	H26実施計画額	18,000 千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	市民や観光客にやすらぎや交流の場を提供するため、適切に公園整備を実施する	概要	事業の実施手法(手段)	・都市・地区公園の改修 ・都市・地区公園の新規整備
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園整備工事(15件) ・地区公園整備工事(6件) ・その他工事(5件) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	公園整備・改修箇所数	箇所	目標値	1	3	2	2
				実績(見込)	5	3	4	
	算出根拠等	大規模工事の発注箇所		達成率(%)	500	100	200	
				目標値	10	10	10	10
	成果指標	市民一人当たりの公園面積	㎡	実績(見込)	13	13	13	
				達成率(%)	130	130	130	
	算出根拠等	全公園面積÷市民人口		目標値	100	100	100	100
				実績(見込)	91	94	94	
	成果指標	公園利用満足度	%	達成率(%)	91	94	94	
				目標値				
	算出根拠等	モニタリング調査		実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・公園整備においては、長寿命化を前提に維持管理の容易な資材を投入するなど、低コストで最大の効果が求められる施設整備を実施していく必要がある
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・公園整備に当たっては、現地調査を十分行い、コスト縮減を図った設計を行っている	
次年度の実施方針	○維持・改善	すべての都市公園・地区公園について改修箇所を調査し、適切な施設整備を実施する
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	9,835	20,959	23,000	121,619
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	105	226	250	1,321
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・都市・地区公園工事改修等工事、突発工事	要求のポイント	・松倉城址からの眺望確保のため、伐採補償等に関する費用を計上 ・安心・安全に公園を利用して頂くため、危険箇所の対策工事について必要な経費を計上	事業実施の課題	・経年変化による施設の修繕箇所の増 ・公園・街路樹の樹木の根上がりによる危険箇所発生
------	----------------------	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	23,000	121,619	98,619	27,500	27,500	・要求箇所の緊急度を考慮し、必要な事業費を確保	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	6,500	7,762	1,262	11,200	11,200		
一般財源	16,500	113,857	97,357	16,300	16,300		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	74720	歴史的環境保全整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	
	課			7	土木費	分野		2	景観				
担当課	基盤整備部 都市整備課	内線	2337	項	4	都市計画費	基本施策	1	潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する	実施計画事業	歴史的環境保全整備事業・まちかどスポット整備事業	H26実施計画額	36,000 千円
				目	7	快適環境整備費		2	あらたな景観の創出				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちかどスポット整備により地域住民の交流の場を創出し活性化につなげる ・各スポットのベンチや舗装などを改修し、施設の長寿命化を図る 	概要	事業の実施手法(手段)	・まちかどスポットの整備
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・江名子川周辺散策路整備工事(2件) ・スポット施設改修工事 ・東山遊歩道看板整備工事 ・城山公園周辺看板整備工事 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		横丁整備延長数	m	目標値	590	349	-	-
	活動指標	算出根拠等	実施延長/計画延長	達成率(%)	85	101	-	-
		実績(見込)	504	353	-	-		
	活動指標	遊歩道看板整備箇所数	箇所	目標値	30	30	-	-
		算出根拠等	設置箇所/計画設置箇所	達成率(%)	117	110	-	-
	活動指標	まちかど整備箇所数	箇所	目標値	-	-	10	2
		算出根拠等	整備箇所/整備設置箇所	達成率(%)	-	-	11	-
	補足	算出根拠等	-	達成率(%)	-	-	110	-
算出根拠等		-	達成率(%)	-	-	-	-	
<ul style="list-style-type: none"> ・横丁整備により歴史的風致が向上し、魅力のある「町並み」が形成されたため観光資源につながっている ・横丁を地域コミュニティの場として利用される機会が増加していると考えられ、地域の活性化につながっている 								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人々の往来と出会いの場となるよう魅力的な整備が必要である ・整備工事を設計する上で、工法や材料の変更を含む整備手法を検討する必要がある
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の魅力的な環境保全に向け、新たな整備を検討している ・既存まちかどスポットの長寿命化と機能向上を図るよう、工法や材料の変更等を行い、コスト削減を図った適切な設計を行う 		
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	横丁整備に代わる新たな計画に基づき事業を実施する
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
	(担当課評価に同じ)		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	39,660	29,681	10,000	10,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	425	320	109	109
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,212	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	憩いの場整備工事	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風致の維持向上のため、まちかどスポットの再整備を実施 ・まちかどの休憩施設の充実を図る 	事業実施の課題	・当該整備においては、伝統的技法や地場産材を有効活用する必要がある
------	----------	---------	--	---------	-----------------------------------

財源内訳	事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方	
	歳出(千円)	10,000	10,000	0	10,000	10,000			
	国庫支出金		4,000	4,000		4,000			4,000
	県支出金			0					
	その他			0					
	一般財源	10,000	6,000	△ 4,000	6,000	6,000			

平成26年度 事業別予算概要

事業名	75100	市営住宅維持管理費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市市営住宅整備計画	市長公約
	課			7	土木費	分野		4	住宅・公園	実施計画事業		市営住宅管理事業、市営住宅(三福寺団地)維持管理事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	5	住宅費	基本施策	1	誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	H26実施計画額	76,000 千円		
	2337			目	1	住宅管理費		施策	1		良質な住宅環境の整備		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市営住宅入居者	どうしたいのか(意図)	住宅に困窮する低所得者に対して、低廉な家賃で住宅を供給し、市民生活の安定を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・年度ごとの家賃算定、毎月の家賃収入、入居者からの相談対応等 ・指定管理者との役割分担のもと市営住宅の維持管理を行う
	対象者数	822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・滞納整理業務の強化(課全員での対応、年間通しての滞納整理業務)による徴収率の増 ・指定管理者との連絡を密にした維持管理対応						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	家賃徴収率	%	目標値	95	95	95	95
		実績(見込)			96	96	95	
	活動指標	算出根拠等 家賃納付金額/家賃納付調停額		達成率(%)	101	101	100	
		市営住宅 入居募集回数	回	目標値	4	4	4	4
	実績(見込)			4	4	4		
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
		市営住宅入居率	%	目標値	90	90	90	90
	実績(見込)			88	85	85		
	成果指標	算出根拠等 入居戸数/住宅全戸数(8月1日時点)H24は5月		達成率(%)	98	94	94	
市営住宅利用満足度(満足している割合)		%	目標値	100	100	100	100	
	実績(見込)			84	83	83		
補足	算出根拠等 モニタリング調査		達成率(%)	84	83	83		
			目標値					
		実績(見込)						
		算出根拠等		達成率(%)				
		目標値						
		実績(見込)						
		算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・需給バランスを考えた住宅の廃止や用途変更 ・特定公共賃貸住宅の空家解消対策 ・連帯保証人を含めた滞納整理の交渉強化
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・市営住宅の需給バランスを調整し適正化するための運用(用途廃止、特公賃の公営化等)を検討
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・これまで通り指定管理者との連絡を密にした維持管理や修繕の実施 ・地域の需要に応じた運用(用途廃止、特公賃の公営化等)を検討 ・今後の市営住宅のあり方について、検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	77,983	75,525	76,827	75,668
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	94,870	91,880	93,464	92,054
	受益者	市営住宅管理戸数	(B)	822	822	822	822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市営住宅三福寺団地家屋借上げ ・市営住宅土地借上げ ・施設の維持管理委託等	要求のポイント	・市営住宅を適正に管理するために必要な経費を計上	事業実施の課題	・需要バランスに対応した住宅供給の見直しが必要
------	--	---------	--------------------------	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	76,827	75,668	△ 1,159	75,928	75,928	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	76,827	75,668	△ 1,159	75,928	75,928		
	一般財源			0				

平成26年度 事業別予算概要

事業名	75105 市営住宅施設整備費	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市市営住宅整備計画、高山市公営住宅等長寿命化計画	市長公約
		款	7 土木費	分野	4 住宅・公園	実施計画事業	公営住宅維持修繕・改修事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課	項	5 住宅費	基本施策	1 誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	H26実施計画額	10,000 千円	
	内線 2337	目	1 住宅管理費	施策	1 良質な住宅環境の整備			
		予算						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市営住宅入居者	どうしたいのか(意図)	市営住宅の整備・改修を進め、居住者の生活環境の快適化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	住宅修繕及び改修工事 ・住宅改修工事 ・空家修繕工事 ・突発修繕工事
	対象者数 822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・宇津江団地床下防湿工事、屋根改修工事の実施 ・杉ヶ丘団地屋根落雪防止工事の実施 ・退去空家修繕工事の実施 							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	整備計画達成状況(大規模改修工事)	算出根拠等	件	目標値	4	1	5	3
				実績(見込)	4	3	5	
	市営住宅の整備に対する満足度(満足している割合)	算出根拠等	%	達成率(%)	100	300	100	
				目標値	100	100	100	100
	モニタリング調査	算出根拠等	%	実績(見込)	72	83	83	
				達成率(%)	72	83	83	
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
目標値								
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化対策のほか、バリアフリー対策を含めた新整備計画が必要である ・新規建設に代わる民間活力導入等の検討が必要である
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・市営住宅整備計画の骨子を策定する	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・市営住宅整備計画に基づく工事の実施
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	計画的に整備を実施する必要があるが、民間活力導入など今後の市営住宅のあり方について、検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 42,804	50,931	25,000	99,402
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 52,073	61,960	30,414	120,927
	受益者 市営住宅管理戸数	(B) 822	822	822	822

5 予算編成(Action2)

事業内容	市営住宅の適切な維持修繕及び改修工事	要求のポイント	住宅整備計画に基づく改修工事に必要な経費を計上	事業実施の課題	老朽化対策、環境対策、バリアフリー対策を考慮した次期整備計画の策定が必要である。
------	--------------------	---------	-------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	25,000	99,402	74,402	22,000	22,000	・要求箇所の緊急度を考慮し、必要な事業費を確保	・財務部査定のとおり
財源内訳	3,000	4,000	1,000	5,000	5,000		
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	22,000	95,402	73,402	17,000	17,000		